



## 2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月24日

上場会社名 株式会社アクシーズ 上場取引所 東  
 コード番号 1381 URL <http://www.axyz-grp.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 伊地知 高正  
 問合せ先責任者（役職名） 経営企画室長（氏名） 黒木 健太郎 TEL 099-223-7385  
 半期報告書提出予定日 2025年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	12,936	1.0	813	△9.6	844	△20.7	835	12.9
2024年6月期中間期	12,806	9.6	900	1.0	1,064	23.5	739	17.8

(注) 包括利益 2025年6月期中間期 528百万円 (△33.6%) 2024年6月期中間期 796百万円 (24.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	148.70	—
2024年6月期中間期	131.75	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	24,072	20,698	86.0
2024年6月期	24,451	20,723	84.8

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 20,698百万円 2024年6月期 20,723百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	98.50	98.50
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	—	—	98.50	98.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	△1.3	1,000	△36.3	1,100	△38.2	1,000	△19.3	178.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年6月期中間期	5,617,500株	2024年6月期	5,617,500株
2025年6月期中間期	1,783株	2024年6月期	1,783株
2025年6月期中間期	5,615,717株	2024年6月期中間期	5,615,717株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(中間連結損益計算書)	6
(中間連結包括利益計算書)	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、国内企業の価格転嫁や個人消費の増加等により企業の業況感は緩やかに持ち直し、DX関連をはじめとする設備投資の増加や雇用情勢の改善がみられる等、景気に緩やかな回復の動きがみられました。

しかしながら、ウクライナおよび中東地域をめぐる情勢や、資源価格の高騰や為替変動の影響に加え、金融資本市場の変動など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

鶏肉業界におきましては、消費者の内食需要の高まりや他畜種に対する価格優位性から、鶏肉相場は回復基調で推移しておりますが、主要製造コストである飼料原料価格が高止まりしていることに加え、その他人件費等の製造コストの上昇が継続しており、今後も厳しい状況が続くものと思われまます。

このような経営環境のもと、当社グループは、飼料製造段階から、飼育、鶏肉生産・加工までの全てをグループ内で行っていくことにより、様々なお客さまのニーズに応えることを目指しております。

食品事業では、将来の生産能力増強及び効率化・省力化を企図した鶏肉加工工場群の改修投資を実施し、増産体制構築のための設備投資を順次進めております。

このような状況下、主要取引先向けの販売が堅調に推移した結果、売上高は前年同期比0.6%の増収となりました。一方、主要製造コストである飼料原料費用及び人件費の上昇が継続していることに加えて、設備投資の実施により減価償却費が増加した結果、利益面は前年同期比16.7%の減益となりました。

外食事業におきましては、PH(ピザハット)店舗運営から撤退したものの、前事業年度に、KFC(ケンタッキーフライドチキン)店舗の新店舗を出店したことに加え、販売単価が上昇した結果、売上高は前年同期比3.3%の増収となりました。一方、人件費が上昇した結果、利益面は前年同期比7.3%の減益となりました。

以上の結果、当社グループの業績は、売上高129億36百万円(前年同期比1.0%増)となりました。利益面につきましては、営業利益8億13百万円(同9.6%減)、経常利益8億44百万円(同20.7%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は8億35百万円(同12.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 食品

売上高は106億72百万円(前年同期比0.6%増)、セグメント利益は4億3百万円(同16.7%減)となりました。

## ② 外食

売上高は20億10百万円(前年同期比3.3%増)、セグメント利益は2億19百万円(同7.3%減)となりました。

## ③ エネルギー

売上高は2億53百万円(前年同期比0.6%増)、セグメント利益は1億90百万円(同6.4%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産・負債及び純資産の状況

	前連結会計年度末	当中間 連結会計期間末	増減
総資産(百万円)	24,451	24,072	△378
純資産(百万円)	20,723	20,698	△24
自己資本比率(%)	84.8	86.0	1.2
1株当たり純資産(円)	3,690.22	3,685.81	△4.41

当中間連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

## (資産)

資産合計は、240億72百万円(前連結会計年度末比3億78百万円減少)となりました。

- ・流動資産：受取手形、売掛金及び契約資産の増加などにより4億31百万円増加
- ・固定資産：機械装置及び運搬具(純額)、工具、器具及び備品(純額)、投資その他の資産の減少などにより8億10百万円減少

## (負債)

負債合計は、33億74百万円（前連結会計年度末比3億54百万円減少）となりました。

- ・流動負債：未払金の減少などにより2億73百万円減少
- ・固定負債：固定負債その他の減少などにより81百万円減少

## (純資産)

純資産合計は、206億98百万円（前連結会計年度末比24百万円減少）となりました。

- ・株主資本：利益剰余金の増加により2億81百万円増加
- ・その他の包括利益累計額：その他有価証券評価差額金の減少により3億6百万円減少

## ② キャッシュ・フローの状況

	中間連結会計期間		増減 (百万円)
	2024年6月期 (百万円)	2025年6月期 (百万円)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,357	877	△1,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△624	△465	159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△562	△574	△12

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億63百万円（△2.3%）減少し、69億52百万円（前中間連結会計期間末に比べ3億71百万円減少）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、8億77百万円（前年同期比14億80百万円減少）となりました。

- ・主な増加要因：税金等調整前中間純利益の計上12億15百万円
- ・主な減少要因：売上債権の増加4億73百万円

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、△4億65百万円（前年同期比1億59百万円支出額が減少）となりました。

- ・主な増加要因：投資有価証券の売却による収入5億8百万円
- ・主な減少要因：有形固定資産の取得による支出9億66百万円

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、△5億74百万円（前年同期比12百万円支出額が増加）となりました。

- ・主な減少要因：配当金の支払額5億52百万円

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年8月9日の「2024年6月期 決算短信」に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,125	6,962
受取手形、売掛金及び契約資産	2,507	2,981
製品	353	381
仕掛品	548	609
原材料及び貯蔵品	898	932
その他	673	669
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	12,104	12,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,477	2,553
機械装置及び運搬具（純額）	2,121	1,984
工具、器具及び備品（純額）	3,260	3,127
土地	2,397	2,409
その他（純額）	662	541
有形固定資産合計	10,918	10,616
無形固定資産	14	12
投資その他の資産	1,414	907
固定資産合計	12,347	11,536
資産合計	24,451	24,072
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	598	579
1年内償還予定の社債	35	35
未払金	2,115	1,787
未払法人税等	239	256
その他	184	241
流動負債合計	3,174	2,900
固定負債		
役員退職慰労引当金	62	64
退職給付に係る負債	250	260
その他	241	147
固定負債合計	554	473
負債合計	3,728	3,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	452	452
資本剰余金	428	428
利益剰余金	19,352	19,634
自己株式	△2	△2
株主資本合計	20,230	20,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	492	185
その他の包括利益累計額合計	492	185
純資産合計	20,723	20,698
負債純資産合計	24,451	24,072

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	12,806	12,936
売上原価	9,760	9,837
売上総利益	3,046	3,099
販売費及び一般管理費	2,146	2,285
営業利益	900	813
営業外収益		
受取利息	0	6
受取配当金	7	8
持分法による投資利益	7	6
受取家賃	11	16
その他	147	21
営業外収益合計	173	57
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	5	16
固定資産除却損	0	8
その他	0	0
営業外費用合計	9	27
経常利益	1,064	844
特別利益		
投資有価証券売却益	—	371
特別利益合計	—	371
税金等調整前中間純利益	1,064	1,215
法人税、住民税及び事業税	331	386
法人税等調整額	△5	△5
法人税等合計	325	380
中間純利益	739	835
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	739	835

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益	739	835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	△306
その他の包括利益合計	56	△306
中間包括利益	796	528
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	796	528
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,064	1,215
減価償却費	809	827
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6	9
受取利息及び受取配当金	△7	△14
その他の営業外損益 (△は益)	△158	△35
支払利息	2	1
持分法による投資損益 (△は益)	△7	△6
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△371
売上債権の増減額 (△は増加)	△465	△473
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△108	△123
仕入債務の増減額 (△は減少)	206	△18
未払金の増減額 (△は減少)	298	119
その他	751	64
小計	2,396	1,196
利息及び配当金の受取額	7	14
利息の支払額	△2	△1
賃貸料の受取額	11	16
法人税等の支払額	△201	△367
その他	147	19
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,357	877
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10	△4,810
定期預金の払戻による収入	10	4,810
有形固定資産の取得による支出	△614	△966
無形固定資産の取得による支出	△2	△6
投資有価証券の取得による支出	△7	△6
投資有価証券の売却による収入	—	508
その他	0	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△624	△465
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△20	△22
配当金の支払額	△541	△552
財務活動によるキャッシュ・フロー	△562	△574
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,170	△163
現金及び現金同等物の期首残高	6,152	7,115
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,323	6,952

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				中間連結損益 計算書計上額 (注)
	食品	外食	エネルギー	計	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	10,608	1,945	252	12,806	12,806
外部顧客への売上高	10,608	1,945	252	12,806	12,806
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,608	1,945	252	12,806	12,806
セグメント利益	484	236	179	900	900

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				中間連結損益 計算書計上額 (注)
	食品	外食	エネルギー	計	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	10,672	2,010	253	12,936	12,936
外部顧客への売上高	10,672	2,010	253	12,936	12,936
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,672	2,010	253	12,936	12,936
セグメント利益	403	219	190	813	813

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。